

## 国立市コミュニティバス運賃体系について

### ■ 1 運賃設定の考え方

利用者から交通系 IC カード対応の要望が寄せられていること、バス利用特典サービスの適用による割引が可能になること、運賃設定の経緯から消費税 5% を含む 170 円運賃を消費税 8% に対応させる必要があることから交通系 IC カードの導入を図る。1 円単位の運賃収受が可能になることから以下の通り運賃を改定する（案）。

① 1 円単位の収受が可能な交通系 IC カードでは大人一回 175 円。小人 88 円。

② 10 円単位の収受となる現金では、大人一回 180 円。小人 90 円。

### ■ 2 割引運賃

#### (1) バス利用特典サービス

路線バスに準じた運賃体系で開始した経緯があること、回数券利用者との割引サービスのバランスを考えると**バス利用特典サービス（バス特）**については**導入するのが望ましい**と考えられる。

#### (2) 運賃改定後の回数券の販売方法

現金運賃 180 円にした場合の回数券については、90 円券 25 枚 2,250 円分を 2,000 円で販売し、大人が使用する場合は券片 2 枚を、小人は 1 枚を運賃箱に入れてもらうことで対応することが合理的と考えられる。回数券の販売方法の変更は 180 円運賃（IC 運賃導入）と同時に行う（すでに販売済みの 170 円回数券は現金 10 円を足して利用可とする）。

#### (3) 回数券の割引率の変更

回数券の販売方法の変更により、以下の通り割引率が変更になる。

##### ① 現在の 170 円回数券

170 円券 13 枚(2,210 円分)を 2,000 円販売 = 9.5% 割引

##### ② 現在の 90 円回数券

90 円券 12 枚と 10 円券 2 枚 (1,100 円分) を 1,000 円で販売 = 9.1% 割引

##### ③ 新たに導入する 90 円回数券

**90 円券 25 枚(2,250 円分)を 2,000 円で販売 = 11.1% 割引**

### ■ 3 導入時期

平成 29 年 4 月を予定。ただし、平成 30 年度に PASMO 協議会加盟事業者全社で IC カードリーダー部分等の更新（取替え）が予定されている（「くにっこ」の運行事業者の立川バス（株）も加盟事業者）。

### ■ 4 運賃収入額の見込みについて

今回の運賃見直しによる運賃収入額の見込みについては以下の通りである。

くにご運賃改定に伴う収入見込み 20161014版

■H27実績

		回数券販売冊数 (冊)	回数券利用人数 (人)	現金利用人数 (人)		
170	円	6,363	82,719	53,044		
90	円	1,053	12,636	8,103		
		回数券収入 (円)	現金収入 (円)		利用者数 (人)	シルバーパス利用者数 (人 : 推計)
		13,779,000	9,747,522		279,334	122,832
収入合計		23,526,522 円				

■H29改定後 (現金で支払う人の半数と回数券利用者の半数が交通系ICカード利用に転換すると仮定※)

		回数券販売冊数 (冊)	回数券利用人数 (人)	現金利用人数 (人)	IC利用人数	
180	円	3,308	41,359	26,522		←半分がバス特対象者 (13%引き) と仮定
175	円				67,881	
90	円	252	6,318	4,051		
88	円				10,369	
		回数券収入 (円)	現金収入 (円)	IC収入 (円)	利用者数 (人)	シルバーパス利用者数 (人 : 推計)
		7,120,000	5,138,550	12,357,115	279,332	122,832
収入合計		24,615,665 円				

※交通系ICカード利用者の割合は国分寺市ぶんバスの実績による